

アンケート回答結果

実施期間 令和6年12月5日～20日 ネット回答
対象会員 当初、リーダー8名の意見集約で実施も、有志回答も追加募集
回答 11件

質問1

新規の受付を中止してリピーターだけの作業について 改善策として妥当だと思えるか？

思う 27.3%
思わない 72.7%

質問1-2 思うと答えた方へ

特定の市民にのみサービスを提供することになりますが、新規発注者が申込できないことは公益性に反するのではとの批判にどのように答えますか？具体的に記述してください。

記述回答

- ① 市場の3分の1程度の価格で植木剪定をしてもらえるのだから、申込みが殺到するのも仕方ない。民間会社だったらリピーターを重視するのは当たり前。公益重視で事務局がパンクしても全て1件は1件。平等にといいのはいかなものか？
- ② 現状を説明して理解してもらおう。(1年間は予約が一杯、この先は抽選になります。)
- ③ 公益性に反するとは思わない

質問1-3 思うと答えた方へ

リピーターの定義は何ですか。具体的に記述してください。

記述回答

- ① 特に定義はないか、3年連続利用位が妥当。
- ② 毎年継続的に注文があるお客様。特に年2回注文があるお客様。
- ③ 毎年連続で利用した方

質問1-4 思うと答えた方へ

人員不足で全てのリピーターの作業をできなくなった場合、何を基準にリピーターの選別をしますか？具体的に記述してください。

記述回答

- ① 各班最低人数4～5人確保が必要。人数確保できない場合は3人で作業できる範囲を限定する。大型案件は無理。
- ② 1. 作業時期を特定しない個人のお客様。2. マンション等大規模のお客様。
- ③ 基準無しその時の状況で判断する

質問 2

抽選による申し込みについて 改善策として妥当だと思うか？

思う（仕方ない含む） 63.6%
思わない 36.4%

質問 2-2 思うと答えた方へ

リピーター顧客からの「抽選が外れた」とのクレームにどのように答えますか？

記述回答

- ① 制度として確立したのならば、それはそれで仕方ない。但し、改善していくことも必要。
- ② 抽選は公平なので仕方がない。
- ③ 作業員が絶対的に少ないため当たる確率が小さいのは仕方がない
- ④ 現状を説明するしかない
- ⑤ 救済策を話す。救済策案・・・2回外れた人には3回目は当選とする。ただ、申込み数が作業可能数よりはるかに多い場合は3回目の人だけで埋まってしまう可能性がある。申込み数と可能数をみて何回目で救済出来るか検討して下さい。

質問 2-3 思うと答えた方へ

何回も抽選に外れる方への救済策等は必要だと思いますか

思う 85.7%
思わない 14.3%

質問 3 上記「1」「2」以外のアイデアについて 何か他にいいアイデアがありましたらご記入ください

記述回答

- ① 価格を大幅にアップして市場価格に近づける、そして賃金をアップして植木職はいいと会員に思わせて、希望者を募る。(無理な話しだと思いますが)
- ② 自分的にはOKでは無いが単金の大幅アップはどうでしょうか？
- ③ 早急に班を増やし、短時間かつ簡単な現場を担当してもらい、山積みの注文を消化することは出来ませんか？ 80歳オーバーのベテランに班長になってもらって引っ張ってもらうことは出来ませんか？
- ④ 作業員を増やさなくては解決しない そのため手当を大幅に増やすことボランティア精神では解決しないと思う。手当では時間給だけではなく道具や消耗品の支給もあります。
- ⑤ 各班の作業可能件数を再度確認し、月額件数を増やす。
- ⑥ 作業員を増やすため 手当を大幅に増やす。財源を確保するため見積もり基準を造園業者価格の半分ぐらいまで上げることです。
- ⑦ 月末に会員に送っている分配金の封筒に「植木班に入って下さい。お客様への対応が出来なくて困っています」等の内容の募集のチラシを男性、女

性の全会員に入れてはどうですか。

- ⑧ リピーター(大得意). (得意)いつもどうり。新規のみ抽選とし新規案件を件数調整する。新規案件の中でも2時間程度の案件は別部隊を結成して対処したらどうでしょうか。受付だけの問題だけではないと思います。1日.2時で終わる日もあるのでもったいないです。自転車の方とかももっと活用したら良いと思います。
- ⑨ 作業規模を2名で半日程度でこなせる範囲のみの受注にする。

アンケートから導かれる植木班の希望

令和8年分からは抽選申込とする。(63.6%)
抽選に外れた方の救済策を策定する。(85.7%)
料金を大幅に上げて、作業員の確保を図る(多数記述)

12/25 理事会の意見等

植木班の希望に沿って、抽選方式で進めざるを得ないという意見で一致。

抽選方法と抽選に外れた方の救済方法の詳細は植木リーダー会議で協議したうえで、次回理事会に報告。

根本的な問題は人手不足なので、待遇を改善し新人会員に訴求することについてもおおむね賛同が得られた。単価改定についての情報を収集したうえで次回理事会に提案報告する。

ただ、単価を上げただけで実際に人材が集まるのか疑問視する声もあった。待遇以外に訴求するアイデアも必要か。